

《無断転載を禁ずる》

2020年度 群馬県立女子大学文学部国文学科
転入学及び編入学試験

・ 出題意図

「国語学・国文学及び漢文学」

問題一

問題一は、平安時代の物語、『伊勢物語』から一段を選び、題材としました。長岡に邸を造ったある風流な貴公子と、その近隣に住む田舎の女性たちのやりとりを描く一段です。古文の基礎的な文法や語彙の知識が身についているかどうか、また、そうした基礎的な知識を応用して貴公子と女性たちのやりとりの要点を理解することができたかどうかを問いました。

問題二

問題二は近現代の文学史についての問題です。「明治時代の自然主義文学」と「心境小説」を問いました。それらについて十分な知識を持ち、近現代の文学史の流れをふまえた上で、適切に説明できるかどうかを問いました。

問題三

問題三は国語学についての問題です。国語学の基礎研究・応用研究に関わる基本的な事項を理解し、具体的な事例を挙げて説明できるかどうかを問いました。また、日本語の言語事象について、その意味・用法を的確に説明することができるかどうかを問いました。

問題四

問題四は、「蛇足」の典拠である『戦国策』から出題しました。再読文字や疑問詞等の漢文の基礎的な語彙・語法を踏まえ、「蛇足」という故事成語の知識を前提として、全体の文意を理解できたかが問われます。また文脈に応じて、見慣れた漢字の意味を柔軟にとらえなおす力も問いました。